

講義科目名称： 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 科目コード： 21740
30-09-00

英文科目名称： Theories and Methods of Education in Information and Communication Technology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	1	教職必修
担当教員			
山下 博通			
添付ファイル			

講義概要	情報通信技術活用の意義と理論について、またそれを効果的に活用した学習指導や校務の推進のあり方について概観するとともに、児童生徒に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための基礎的な指導法について学ぶ。		
授業計画	1	情報化社会と学校教育 情報化社会とSociety5.0 学校のデジタルトランスフォーメーション GIGAスクール構想	
	2	ICTを活用した授業 一人一台端末環境における授業の考え方 ICTを活用した授業の実際 デジタル教材の活用と作成	
	3	ICTを活用した授業デザイン 一人一台端末の授業における指導技術 ICTを活用した授業デザイン	
	4	情報活用能力を育成する授業 情報活用能力とは何か 情報活用能力と情報科の授業 情報活用能力を育成する授業デザイン	
	5	情報モラルを育成する授業 児童生徒を取り巻くICT環境と問題 情報モラル教育の進め方 情報モラルを育成する授業デザイン	
	6	情報化社会における授業デザイン 情報化社会における授業デザインの考え方 授業デザイン演習	
	7	情報化社会における授業デザインの検討 情報化社会における授業デザイン検討の視点 授業デザイン検討演習	
	8	授業研究と学び続ける教師 情報化社会における職員研修 反省的实践家～学び続ける教師	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
授業形態	講義、演習及びレポート アクティブラーニング：①：8回、②：7回、③：0回、④：0回、⑤：0回、⑥：0回		
達成目標	1 情報通信技術の活用と意義について、情報化社会という背景を踏まえて理解する。 2 情報通信技術を活用した授業や校務の在り方について、具体的事例を踏まえて理解する。 3 情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する授業デザイン力を演習を通して身につける。		
評価方法・フィードバック	レポート50％、演習50％の割合で総合評価する。原則として、レポート等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。		
評価基準	秀＝目標達成100～90％ 優＝目標達成89～80％ 良＝目標達成79～70％ 可＝目標達成69～60％ 不可＝目標達成59％以下		

教科書・参考書	なし
履修条件	教職志望者であること。
履修上の注意	知識基盤社会を迎え、学校教育は学習者中心の学びへの変革を求められている。本講義では、学習者が自ら学ぶという学習形態をとるので、これからの教育を担う教員を目指す者として意欲をもって臨むこと。
準備学習と課題の内容	学習内容に関する復習・予習を前提とした授業展開をするので、授業準備をしっかりとって授業に臨むこと。 (毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度)
ディプロマポリシーとの関連割合 (必須)	知識・理解: 30%、思考・判断: 40%、関心・意欲: 10%、態度: 10%、技能・表現: 10%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	